

V-FRC

2次元CAD V-nasシリーズ

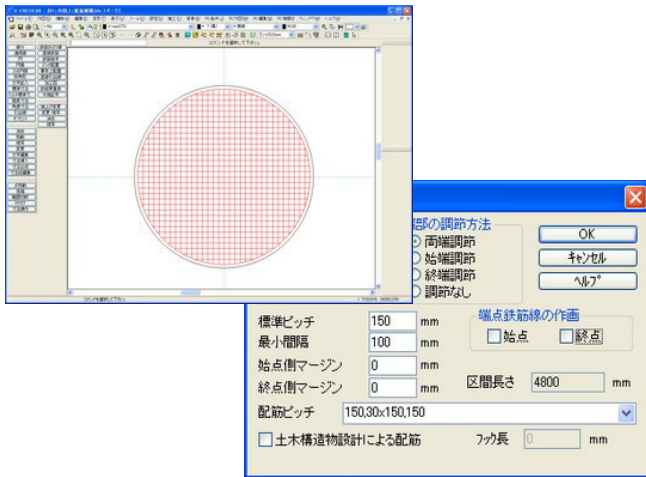
V-FRC（バイエフアールシー）は、任意形RC構造物の作図に便利なRC構造専用作図コマンドを装備しています。配筋図・加工図・鉄筋表・鉄筋記号の連動により、大幅に省力化を実現します。図面内鉄筋情報の整合性チェック機能もついています。「土木構造物設計マニュアル」に対応し、「土木製図基準（平成15年小改訂版）」に対応した加工図の作図もできます。

製品特長

1 | 作図

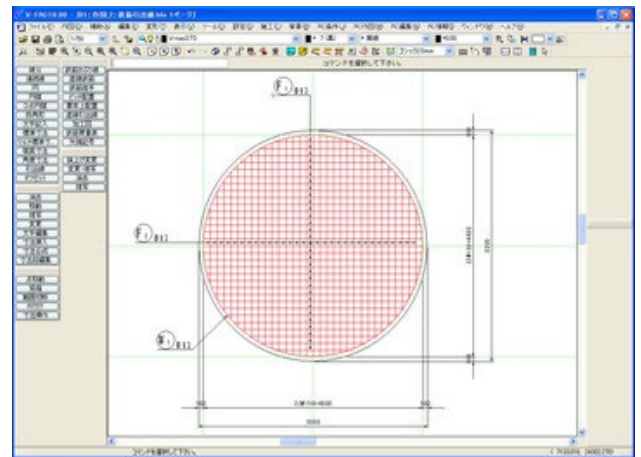
▶ 配筋展開

作図範囲・ピッチ・本数等の情報を与えることにより簡単に配筋が可能。両端調整、始点・終点調整を指定すれば、端部のピッチ端数を自動調整。もちろん最小ピッチの指定も可能。「鉄筋線」に対してレイヤ設定が可能なので、レイヤの切替え作業なしに、CAD製図基準へもラクラク対応。



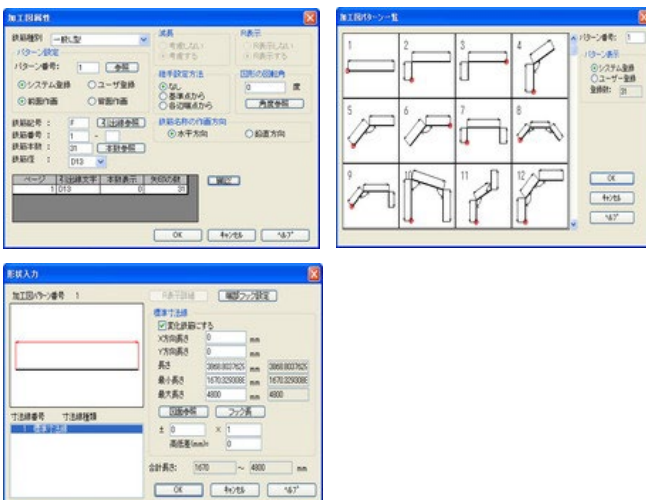
▶ 鉄筋引出線

鉄筋線を指示することで本数を自動計算し矢印も自動作図。あとは、記号、番号、鉄筋径を入力するだけでOK。



▶ 鉄筋加工図

加工図の形状タイプを選択し、鉄筋引出線から記号・番号・本数を自動設定。図面から鉄筋長、角度を取得し正確・簡単に加工図を作成。もちろん、曲げ加工表示の有無や、変化鉄筋にも簡単対応。加工図の形状タイプは任意形状を追加可能。



▶ 鉄筋質量表

複数ページにわたる図面内の加工図を自動集計・自動作図。数値まるめ位置（小数何位）、まるめ方法（切り捨て、四捨五入・・・）も設定できるのであらゆる発注者の要求にも充分満足！

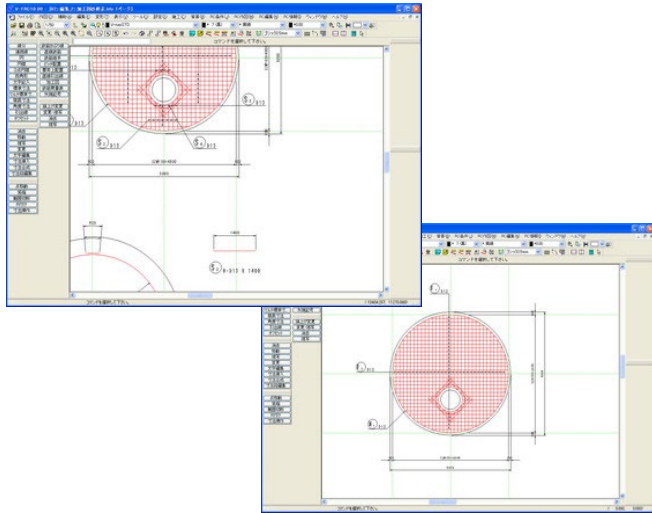
鉄筋径	長さ	本数	単位質量	総質量	質量	備考	
F1	913	3070	34	0.995	3.001	23.120	円断面
F2	913	3020	31	0.995	3.001	83.195	円断面
						165.315	
S1	913	1400	0	0.995	1.383	11.144	
S2	913	2100	2	0.995	2.119	4.319	円断面
						15.463	
M1	913	15400	2	0.995	15.402	28.314	円断面
						28.314	
合計	913				311.181	kg	
総質量					311.181	kg	

計画段階でも手早くプレビュー可能

2 | 編集

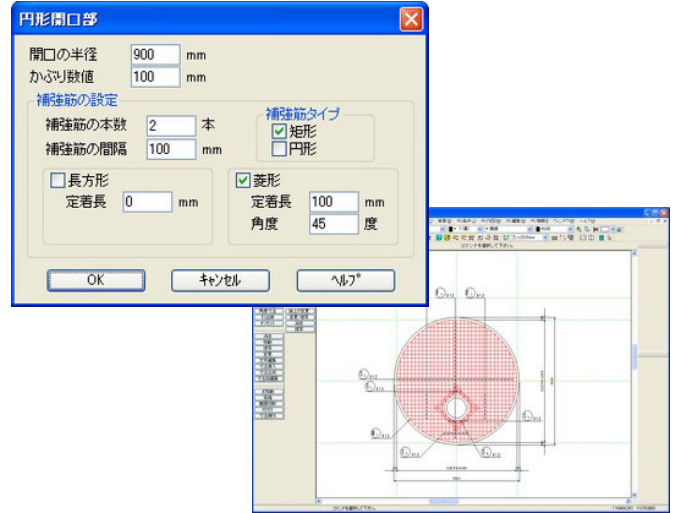
▶ 展開図の修正

たとえば、開口部を設置する場合、開口部（矩形・円形）の位置を図上で指示し、かぶり等を入力。周囲の鉄筋を自動切断し、補強筋も自動作図。



▶ 加工図の修正

開口部によって切断された鉄筋は、鉄筋長、本数などの再計算が必要ですが、展開図の変更箇所から、情報を参照するので正確・簡単！



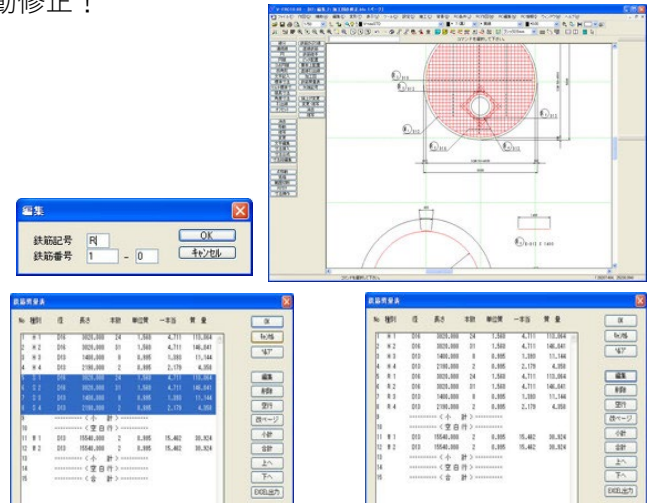
▶ 加工図の追加

開口部によって補強鉄筋などが追加される場合も、もちろん展開図から情報参照。鉄筋番号の自動修正機能があるため、作成時に番号の重なりを気にする必要はありません！



▶ 鉄筋質量表再作成

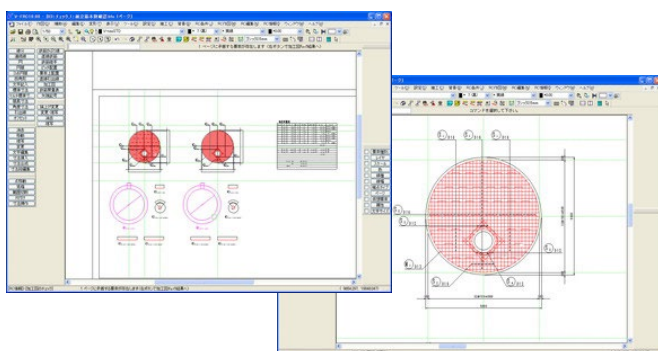
質量表作成時に、鉄筋記号、鉄筋番号を編集可能。番号の入れ替えや、記号の変更、削除も簡単。振り直した番号に従って、展開図の引出線・加工図も自動修正！



3 | チェック

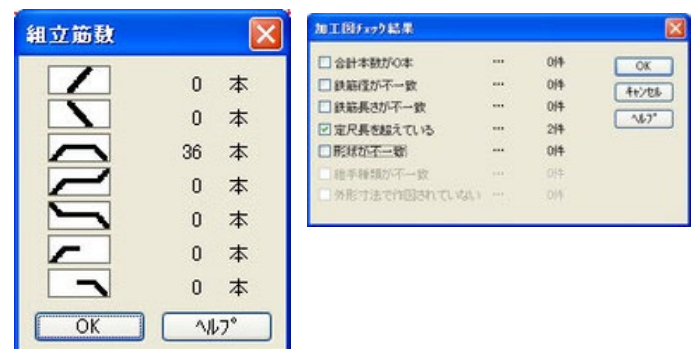
▶ 組立筋本数確認

エリアを指定することにより展開図の組立筋本数を自動計算。どんな形の組立筋がどれくらい作図されているのか、瞬時に確認。



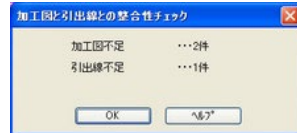
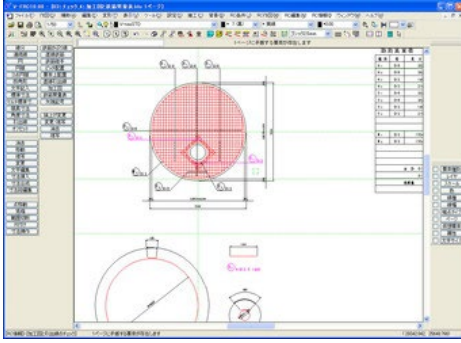
▶ 加工図チェック

鉄筋加工図の妥当性をチェック！たとえば、定尺長を超えていないかなどを自動的に検出。



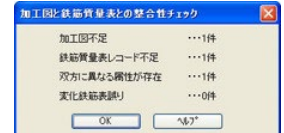
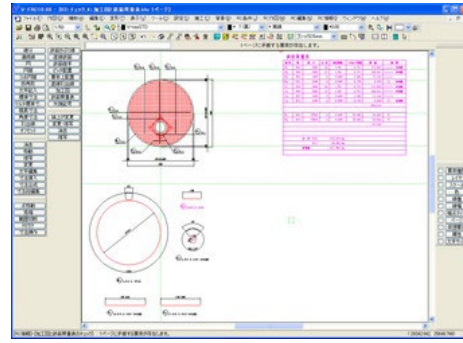
▶ 加工図と引出線

加工図と引出線の整合性をチェック！“引出線は作図しているが、加工図が存在しない場合”などを自動的に検出。



▶ 加工図と鉄筋質量表

加工図と鉄筋質量表の整合性をチェック！加工図の本数と質量表の本数が一致するかも瞬時に確認。マーカーで図面を塗りつぶす必要はありません。



動作環境

※必要メモリ等はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

OS

Microsoft Windows 11,10 64bit
※Windows動作保証の最新情報は[こちら](#)

CPU

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

メモリ

OSのシステム要件を満たし、問題なく動作する環境

記憶装置

10GB以上の空き容量 SSDを推奨

ディスプレイ

1920×1080以上が表示可能なもの